

2013 年度 第 1 回トライアル委員会

【ダイジェスト版】

◆開催日 : 2013 年 11 月 21 日 (木) 午前 10 時 30 分～午後 16 時 30 分

◆開催場所 : 東京・築地・MFJ 会議室 (東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10F)

1. 前回議事録の確認について

2013 年 3 月 13 日に開催された平成 24 年度第 2 回トライアル委員会議事録が提出され、確認された。

2. 2013 年度全日本シリーズランキング報告

2013 年度全日本トライアル選手権シリーズのランキング表が提出され、承認された。

IB → IA (自動昇格) 倉持俊輝、上本直樹、西尾博文、新井佑典、中里侑

IA → IAS (自動昇格) 成田亮

IA → IAS (申請昇格) 岡村将敏、藤原慎也、本多元治、徳丸新伍

IAS → IA (申請降格) 野本佳章、加賀国光、宮崎航、斉藤晶夫、永久保恭平

3. 2013 年度主要競技会開催状況報告

①全日本 TR 選手権シリーズ

第 1 戦の関東大会が中止となり、全 6 戦で開催され、集客の多い関東大会の中止の影響で観客数は前年比 90%。参加台数は、合計 102%とほぼ横ばい。クラス別でもほぼ前年同数 (IB:102%、IA:106%、IAS:110%) であり、景気回復の兆候がなかなか見られずライセンス会員数も減少する状況下で、安定した台数が確保できていた。

②地方選手権シリーズ

全道：全体で 81%の落ち込み。特に NB クラスは 1 大会平均の台数が 48%と大幅に減少し、早急な対策が必要。

東北：全体で 112%と増加。どのクラスも増加しているが、特に IB (125%)、NA (124%) と順調。

関東：全体で 111%と増加。NB クラスが 127%と増加したが、IB クラスは 86%と減少し、IB への対策が必要。

中部：全体で 114%と増加。NB クラスが 119%と増加したが、IB クラスは 93%の減少。

近畿：全体で 102%とほぼ横ばい。NB クラスの 117%増加に対し、NA クラスが 93%減少。

中国：全体で 109%とほぼ横ばい。どのクラスも増加しているが、IB クラスが 120%と増加。

四国：全体で 81%の落ち込み。NB クラス (76%) と NA クラス (77%) の減少が目立ち、入門クラス増加対策が急務。

九州：全体で 79%と、地区の中で最も減少率が大きかった。NA クラス (79%)、NB クラス (88%)、IB クラス (90%)

4. 2014 年度主要競技会日程

- 第 1 戦 関東大会 3 月 9 日 まかべ TR ランド
- 第 2 戦 近畿大会 4 月 20 日 名阪スポーツランド
- 第 3 戦 九州大会 5 月 11 日 フィールド幸楽
- 第 4 戦 北海道大会 7 月 20 日 わっさむサーキット
- 第 5 戦 中国大会 9 月 7 日 原瀧山 TR パーク
- 第 6 戦 中部大会 10 月 12 日 キョウセイドライブランド
- 第 7 戦 東北大会 10 月 26 日 スポーツランド SUGO

世界選手権日本 GP 4月26日-27日 ツインリンクもてぎ
トライアルグランドチャンピオン大会 11月9日 東北（スポーツランド SUGO）
トライアルデナシオン 9月13日-14日 アンドラ

5. トrial普及対策について

① ライセンス発給枚数報告

2013年10月末日までのライセンス発行状況表が提出された。

トライアルライセンスは、前年比99%とほぼ同等であり、安定した種目であると言える。国内B級（114%）、ジュニア（183%）と入門クラスの増加が順調である反面、国際A級（89%）、国際B級（92%）、国内A級（88%）と、上位階級の減少が目立つ。データからは、現状のライセンス所持者（特に上位階級者）が継続してくれる環境提供にニーズがあると分析できる。普及対策においては、現在のライセンス所持者のニーズにあったイベントやスクール等の設定を重視した議論をお願いしたい。また、地区ごとでは北海道、近畿、中国、四国、九州が前年比減少となっている。ライセンス全体としては95%の減少であった。

② 2020年ビジョンについて

<選手育成対策>

- ✓ 入門者向け講習会テキストを製作し、既にMFJホームページで広く公開中。
- ✓ TRアカデミーのバランス運営を目指し、1DAYアカデミーの参加増加、営業強化を検討する。
- ✓ 卒業生の動向を調査し、参加募集につなげる。また、卒業生の協力による入門者向けツールを製作する。

<国際大会に対する考え方>

- ✓ 若手を中心とした編成で、IAも対象にし、デナシオン大会への代表チーム出場を選手会を通じて促進していく。
- ✓ 2013年に出場したウィメンズ代表メンバーを軸に、女性ライダーへのモチベーションにつなげる。
- ✓ 世界選手権日本GPへのルーキーズクラス設定を継続させ、トライアルGC大会の参加促進につなげる。

<入門者・ベテラン層の囲いこみ>

- ✓ MFJに登録されていない、地区の草大会の調査を継続し、主催者からノウハウを聞く機会を設ける。
→ 普及作業部会の開催（2014年）

<ファン層の取り込み>

- ✓ 試乗会が好評であり、2014年大会でも継続してほしい。（他大会も実施できないか？）
メーカー、インポーターの協力が不可欠であり、トライアル委員会より協力依頼をする方向で、作業部会で調整。
- ✓ IAS選手のサイン会を全大会で継続して実施する。
- ✓ 今年東京MCショーのMFJブースで実施された「TR乗り方講座」に、特に家族連れの来場者が興味を示した。
トライアル競技は、市街地から離れた場所で行われていることが多く認知度が低いことも問題として挙げられるが、来年も同イベントで継続してPRを行い、認知度向上を目指す。

<地方選手権と県大会の構造改革>

- ✓ 地区によってニーズは異なるが、「入門者クラスの会員増加」と「上級クラスの継続」に絞った対策を作業部会で議論し、地域ごとの増強対策につなげる。

<情報配信と営業関連>

- ✓ MFJ オンラインマガジンを使った PR 活動 … IAS ライダープロフィール公開
http://www.mfj.or.jp/user/contents/Watching-a-game_info2013/trial/index.html
- ✓ Eメールによる会員向け情報配信（メールマガジン、緊急連絡等）
- ✓ 中部大会において、QRコードを利用した途中経過配信サービスを継続。観客サービスが向上した。

6. 国内競技規則（改訂案）について

(1) 「ノンストップ」ルールの対応について

決定事項

現状世界の状況を調べた結果、FIM規則が変更となる可能性も捨てきれないことから、2014年は全日本トライアルではノンストップルールは適用しないこととする。

(2) 2014年日本国内規則変更（案）について

①規則書の記載方法について

提案

規則書の変更項目については、変更等が判りやすいように1年間のみの掲載として以下の通りとしたい。

削除項目は、二重訂正線で表示、追加項目は、太字での表示、一部変更は二重線削除の後に太字で表示する。

決定事項

削除部分を残すことは文量を増やすことにもつながり、読者の見づらさ等も考慮し、競技規則のページに“変更点”としてまとめて掲載する体裁を採用することとなった。

◆ 6. 障害

6-1 トライ中のライダーが予期しない障害物に妨害された場合セクション審判員（オブザーバー）の判断によって再トライが認められる。**追加**トライ順は最初とする。

意見：再トライの順番を明確に決めておきたい。

決定：上記の通り

◆ 9. 出場に関する手続き

9-6 出場者受付

大会当日にライダーの出場資格の確認を行う。**追加**決められた時間内にライダー（本人）またはチーム員等がMFJライセンス、参加受理書、健康保険証（コピー可）を提示して出場資格の確認を受けなければならない。出場受付の時間は…

決定：上記の通り

◆ 10. 技術規則関連

10-4 車両検査

大会当日出場資格の確認後、ライダーの車両検査を行う。**追加**（本人以外持ち込み可）

検査を受ける車両は、ライダー1名に対し1台に制限される。

決定：上記の通り

◆ 11. ペナルティー 11-2-3 失敗

削除 ~~1 1 2 3 1 0~~ ライダーがセクションの状況を変化させた。

「加算の5点」とする。当該セクションのトライは可。グリーンだと加算5点のみとなるが……。加算は最終集計に盛り込む。

決定：上記の通り

◆ 11-2-5-3 (追記)

ライダーがセクションの状況を追加故意に変化させた。5点(加算)

決定：上記の通り

◆ 附則 判例集 (国内競技規則書 236 ページ)

ペナルティー関連

✓ 以下の場合、フォルト1回とみなす。

– 身体または車両**追加**または車両**(タイヤ、フットレスト、エンジンプロテクションプレートを除く)**が地形にもたれかかり、バランス修正した。

✓ 5) 以下の場合…

ライダーの身体や車両追加(タイヤ、フットレスト、エンジンプロテクションプレートを除く)の部分が…

決定：上記の通り

◆ 附則 20 全日本特別規則 (国内競技規則書 243 ページ～)

① 8 アシスタント

8-1-4 ライダー単独で…許可を得ること。**追加(但し、リタイヤ・ゴールしたライダーは認められない)**

決定：上記の通り(全日本のみ)

8-1-6 アシスタントの使用の使用する車両はM F J 公認車両とし、原則車両検査が行われる。

追記 **(本人以外持ち込み可)**

② 13 ペナルティー 13-2 失敗

削除 ~~1 3 2 1~~アシスタントがセクションを変化させた。

✓**「加算の5点」とする。**ライダーの当該セクションのトライは可能。

グリーンだと加算5点のみとなるが……。加算は最終集計の際に盛り込む。

13-3-2 アシスタントがセクションの状況を追加故意に変化させた。5点(加算)

意見：アシスタントの違反行為に対し、加点を増やしたらどうか。(ライダーの行為がむしろ目立つ)

決定：上記の通り

③ 14 イエローカード

14-1 オフィシャルの指示に従わないライダー、及び攻撃的な言動をとるライダー(アシスタント等含む)に対してイエローカードが提示される。

→ **提案** すべての不適切な行為、すべての不正行為、すべての禁止事項に違反した場合、イエローカードが提示される。

意見：特定した行為ではなく、全般的な違反行為に対し、オフィシャルの判断に委ね、躊躇なく出すようにしなければならない。

決定：14-1 オフィシャルの指示に従わない、攻撃的な言動をとる、その他不正行為に対してイエローカードが提示される。

◆ 2014 年規則確認事項

キルスイッチの装着 → 全ての公認大会において義務付けとなる。

(3) 全日本 SS の表記統一化について (基本的事項)

決定 : SS を行う全ての大会は、以下の文言を公式通知に表記する。

「SS はスーパークラス選手全員で同時に移動する方式となりますので、セクションインのタイミングは、係員の誘導に従い、順番通りに行って下さい」

スペシャルセクション(以下 SS とする)特別規則

- ① 今大会は、「国際 A 級スーパークラス」に限り SS を設定する。
- ② SS は、SS① SS② が用意される。
- ③ 〇時〇分になったら競技役員の指示に従い、全員 SS①のコリドーで待機していなければならない。
- ④ セクションは SS① SS② の順に係員の指示に従いトライすること。
SS は 1 LAP 目のスタート順にトライしなければならない。
SS①のトライが終わったライダーは係員の指示に従い待機所で待機する事。
- ⑤ SS セクション持ち時間 → 〇分〇秒
- ⑥ ゴールタイムチェック → SS のゴールタイムチェックは有りません。(SS のゴール時間は考慮しない。)
- ⑦ 係員の指示に従えない (指定された順番にセクション I N 出来ない) 場合は、ノートライとして減点 10 点となります。
セクショントライ不可。
- ⑧ 申告エスケープは認められる。(減点 5 点)
- ⑨ 通常のセクション 2 ラップ終了後、**アシスタントの車両はパドックにて保管**、SS 時の移動に車両を使用することは禁止とします。
- ⑩ **SS に限り、アシスタントを一人追加することが認められる。(ただし、追加されるアシスタントは、本大会にライダーまたはアシスタントで登録している者に限る)**
- ⑪ **ライダー受付時に登録して許可書をもらうこと。(危険な箇所の補助以外の行為は禁止する。)**
- ⑫ 〇時〇分以降のセクション内下見は禁止とする。(セクションテープの外からも含む。)
- ⑬ SS 特別規則で不明な事項は、事前に大会本部で確認してください。

決定 : 上記の参考例を基本に、各大会で公式通知 (特別規則) を発行する。

(4) ルールの厳守について (セクションの状況を変化させる行為)

前日のセクション内下見の際にも「置石・石を退ける」等があり、セクションに役員配置が可能であれば厳格に対応すべき。

イエローカードで対応し、悪質な場合は更なる罰則を審査委員会で協議する。また、役員配置が不可能な場合は、当日スタート前にセクションコーディネーター等ですべてを確認し、可能な限り現状復帰すべきである。

(5) 緊急対策マニュアル

事前に想定できる災害(台風・寒波など)に対する対策マニュアル (以下参照) を作成し、運営マニュアルに記載する。

7. その他

(1) 地区昇格ポイント、人数等について ※2014国内競技規則書参照

(2) 再昇格基準について

ライセンス更新年度とスポーツ年度の異なる為、再昇格の基準に矛盾が生じた。

年度を合せる為の検討がなされており、事務局で協議中であることが報告された。

(3) 競技役員ライセンスについて

《役員制度について》

◆MFJモーターサイクルスポーツ開催規則

第3章 競技役員（オフィシャル）・講師に関する規定

継続審議：本部事務局にて精査し、次回までの継続検討とする。

(4) 重大事故に伴う安全対策について

本年ツーリングトライアルイベント（MFJ公認・承認対象外）で死亡事故が発生したことが報告され、再度安全を考慮するよう注意が呼びかけられた。

<セクション関係注意例>

- ✓ 下り、特に飛び降り設定（ぬかるんでる場合は特に注意）
- ✓ 岩等連続セクションではフロントが岩の間に落ち込まないような設定（前転防止）
- ✓ 斜面の鋭角的なターン設定（ステップが引っ掛かって前転しないように）
- ✓ 最後の逆U字ターンで、下ってからアウトにしない。（時間に追われて危険）
- ✓ ステップ・ハンドルが引っ掛かるようなライン設定
- ✓ 対面移動の場合は見通しのよい環境設定、また崖の側を通さないライン

<主催関係注意例>

- ✓ 大会主催者がそれぞれ異なる場合は、地区委員長はセクション・運営状況を確認すること。
（セクション確認は各クラスの下位者のことも配慮）
- ✓ セクション設営は複数で安全確認を最優先で設定すること
- ✓ ライダースミーティングで無理なトライはしないように告げる
- ✓ 緊急時の対応確認（救急病院・当番医・担架・AED・ドクターヘリ）
※近隣の消防署に、救急の初期対応の講習会（AED取扱等）を依頼する。

(5) 2013トライアル・デ・ナシオン女性日本代表チーム参戦報告について

2013年9月7日、フランスのLa Châtreで開催された「2013 FIM WOMEN'S TRIAL DES NATIONS Womensクラス」に日本代表チームが参戦し、10位（参加11か国）となったことが報告された。

日本代表選手 沖本由香選手／佐々木淳子選手／小玉絵里加選手

なお、各代表選手は前日に行われた世界選手権（出場44名）にもエントリーし、沖本選手（33位）小玉選手（36位）佐々木選手（42位）であったことも併せて報告された。

また、参戦にあたり各代表選手のチームウェアをRSタイチ様より、ヘルメットをアライヘルメット様よりご協賛頂いたことが報告された。

(6) レディースミーティングの開催について

デナシオン女性チームのメンバーをきっかけに、国内の女性トライアルライダーの普及活動に貢献できないか？

世界選手権ではミーティングが行われ、ウェアに関することから更衣室や競技に関すること等情報交換を行う場を設けている。国内において、女性ライダーを集めた「レディースミーティング（仮称）」の開催を企画し、世界選手権のもてぎで招集する企画等、検討すべきとの提案が出され、事務局にて調査することが確認された。

（７） エントリー料金の設定について（全日本大会）

2014年4月に消費税が8%アップすることを受け、エントリー料金も消費税分の値上げを余儀なくされていることが報告された。

（８） 観客賠償保険の改定について

公認・承認競技会の申請料に含まれている“観客賠償保険”の掛金が、近年、観客や関係者（競技役員等）の事故発生件数が増え、大幅に値上がっている。しかしながら主催者の負担増加を避ける為、競技会申請料の値上げはせずに MFJ 事務局で掛金の不足分を支払ってきたが、掛金の増額が続き事務局での負担に限界が生じた為、2015年より競技会申請料を値上げせざるを得ない状況となっており、トライアル委員会です承された。

（９） スポーツ年度とライセンス年度の共有化について

継続審議

（10） エンジョイライセンスの1 DAY 化（案）について

継続審議

以上